

がん患者家族に対する精神腫瘍学的介入に関する評価についての後 方視的研究

研究対象：

国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科において、2011年以降、精神医学的治療、臨床心理学的治療などを実施された悪性腫瘍患者およびその家族を対象とします。

研究の目的・方法：

がん患者家族に対する精神医学・臨床心理学的治療は依然として改善の余地があります。本研究は、国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科の診療データを用いて、精神医学的な特性と治療の効果に関して適切な解析を実施することを目的とします。本研究で得られた結果を新たな治療法を検討する資料とすることに意義があります。

本研究は、国立がん研究センター中央病院の診療録・データベースの情報を収集し、解析することで実施されます。

研究に用いる情報の種類：

診療情報（性別、介入時年齢、依頼診療科、心理士介入有無、疾患名、病期、疼痛、介入時身体活動度、精神科診断名、精神科診断分類）等

問い合わせ先：

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：松岡 弘道（精神腫瘍科科長）

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
電話：03-3542-2511（内線 7004） / FAX：03-3542-3815

研究事務局：柳井 優子
〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1
国立がん研究センター中央病院精神腫瘍科
電話：03-3542-2511（内線 7278） / FAX：03-3542-3815